

環境マネジメントデータ

● 環境マネジメントシステム

ISO14001:2015 認証登録範囲：牛乳、乳製品、アイスクリーム、飲料、その他の食品の製造及び研究開発

● 本社／研究情報センターサイト		
本社(プラザビル)	〒108-8384	東京都港区芝5-33-1
本社(目黒ビル)	〒153-8657	東京都目黒区目黒4-4-22
本社(芝浦DFビル)	〒108-0023	東京都港区芝浦3-13-8
研究情報センター	〒252-8583	神奈川県座間市東原5-1-83
● 佐呂間工場	〒093-0504	北海道常呂郡佐呂間町字西富123
● 別海工場	〒088-2572	北海道野付郡別海町西春別清川町18
● 盛岡工場	〒020-0133	岩手県盛岡市青山2-3-14
● 福島工場	〒960-8154	福島県福島市伏拝字清水内5
● 利根工場	〒303-0043	茨城県常総市内守谷町4013-1
● 東京工場	〒124-8577	東京都葛飾区奥戸1-29-1
● 多摩サイト		
東京多摩工場	〒207-0021	東京都東大和市立野4-515
大和工場	〒207-0021	東京都東大和市立野4-601
東日本市乳センター	〒207-0021	東京都東大和市立野4-540
装置開発センター	〒207-0021	東京都東大和市立野4-515
● 松本工場	〒390-0837	長野県松本市鎌田2-1-4
● 富士工場	〒418-0046	静岡県富士宮市中里東町639
● 中京工場	〒483-8256	愛知県江南市中奈良町一ツ目1
● 近畿工場	〒663-8242	兵庫県西宮市津門飯田町2-95
● 神戸サイト		
神戸工場	〒657-0854	兵庫県神戸市灘区摩耶埠頭3番
西日本市乳センター	〒657-0854	兵庫県神戸市灘区摩耶埠頭3番
● 横浜乳業	〒252-1125	神奈川県綾瀬市吉岡東3-6-1
● エムケーチース	〒252-1116	神奈川県綾瀬市落合北1-1-1
● 富士森永乳業*	〒411-0933	静岡県駿東郡長泉町納米里18
● 熊本森永乳業*	〒861-8011	熊本県熊本市東区鹿島瀬町431-1
● 日本製乳	〒999-2176	山形県東置賜郡高島町大字糠野目字高野壱694-1
● 東洋乳業	〒731-0211	広島県広島市安佐北区三入1-19-7
● 沖縄森永乳業	〒903-0105	沖縄県中頭郡西原町字東崎4番地15
● 十勝浦幌森永乳業*	〒089-5607	北海道十勝郡浦幌町字材木町1
● 北海道保証牛乳	〒047-0264	北海道小樽市桂岡町3番8号
● 東洋酪乳	〒458-0919	愛知県名古屋市中区桶狭間神明1518番地
● 東北森永乳業仙台工場	〒983-0001	宮城県仙台市宮城野区港1-1-9
● 東北森永乳業秋田工場	〒018-3596	秋田県大館市岩瀬字上軽石野38-1
● 森永北陸乳業富山工場	〒930-0916	富山県富山市向新庄町8-3-45
● 森永北陸乳業福井工場	〒910-0805	福井県福井市高木2丁目601
● フリジポート熊本工場	〒861-1312	熊本県菊池市森北仁田畑1812番地の24
● シェフォーレ	〒276-0022	千葉県八千代市上高野1355-31

※2018年10月1日に社名変更をしています。

ISO14001:2015認証登録は、旧社名で登録をしています。(2018年10月時点)

● 環境会計

(対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日)

対象範囲：直系13工場+関係16工場+本社・研究情報センター、支社・支店・センター

環境保全コスト

分類	項目 コスト内訳	単位	2017年度	
			投資額	費用額
事業エリア内				
①公害防止コスト	典型7公害防止コスト	千円	500,610	1,019,859
②地球環境保全コスト	温暖化防止、フロン対策等コスト	千円	482,280	484,336
③資源循環コスト	廃棄物等の資源再利用コスト	千円	219,551	332,311
エリア内計		千円	1,202,441	1,836,506
事業エリア外				
④上下流コスト	原料、流通、廃棄後のコスト	千円	0	541,140
⑤環境管理コスト	環境マネジメント、講習会等コスト	千円	0	256,907
⑥社会活動コスト	緑化、美化推進、河川清掃コスト	千円	0	20,511
⑦環境損傷対応コスト	汚染負荷量賦課コスト	千円	0	18,981
エリア外計		千円	0	837,538

環境保全効果

分類		効果	単位	2016年度	2017年度
①公害防止コストに対する効果	大気汚染防止	SOx排出量の削減	トン-SOx	-50	1
		NOx排出量の削減	トン-NOx	12	49
②地球環境保全コストに対する効果	温暖化防止	生産によるCO ₂ 排出量の削減	トン	11,750	5,041
		業務によるCO ₂ 排出量の削減	トン	472	1,077
③資源循環コストに対する効果	資源有効利用	運搬によるCO ₂ 排出量の削減	トン	1,238	3,176
		水使用量の削減	千トン	713	539
④上下流コストに対する効果	容器包装に関連する環境負荷低減	廃棄物排出量の削減	トン	1,748	5,638
		紙製容器包装の利用量の削減	トン	778	-547
		プラスチック製容器包装の利用量の削減	トン	906	-195

※効果は該当年度と前年度の差で表示しています。(プラスが減少、マイナスが増加を表します)

環境経済効果

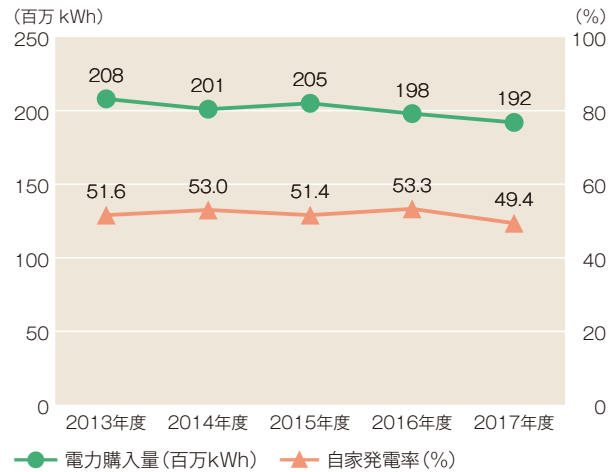
分類	効果	単位	2016年度	2017年度
②地球環境保全コストに対する効果	省エネルギーによる費用削減	千円	256,860	193,704
③資源循環コストに対する効果	資源リサイクルによる収入	千円	68,640	54,440
	廃棄物処理費用の削減	千円	24,806	62,700
④上下流コストに対する効果	物流削減による費用削減	千円	26,300	9,000

※環境経済効果の通し番号は、環境保全コスト(上表)に対応しています。

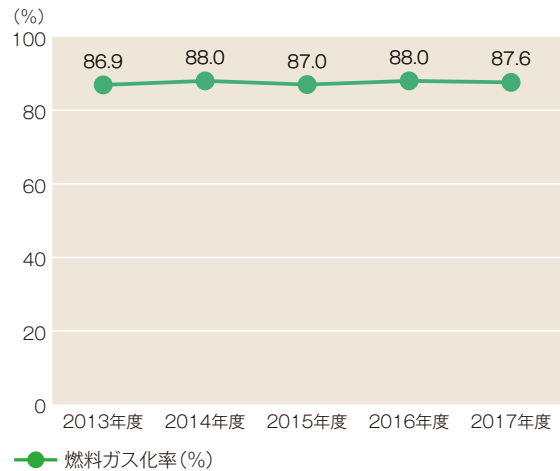
環境パフォーマンスデータ

● エネルギーとCO₂

電力購入量と自家発電率



燃料のガス化率

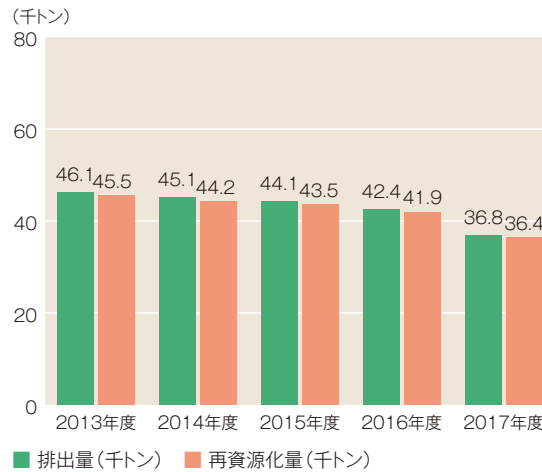


燃料のガス化：

重油よりも都市ガスの方が燃やした時のCO₂発生量は少なくなるため、使用する燃料を重油から都市ガスに変更すること。森永乳業グループの工場では、燃料のガス化を進めています。

● 資源循環

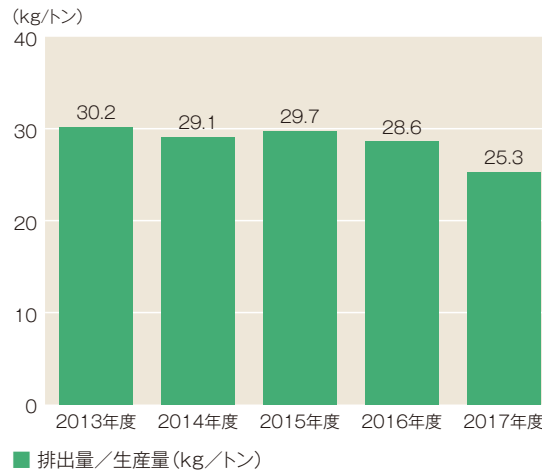
産業廃棄物排出量／再資源化量



産業廃棄物排出量：

事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、外部の業者で委託処理を行った廃棄物の量。有価で引き取られたものも含まれます。

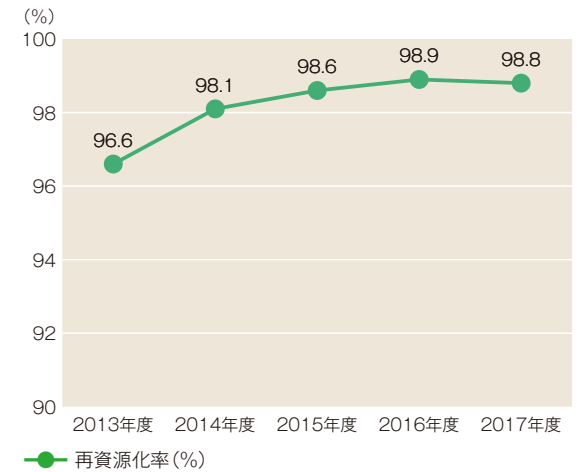
産業廃棄物排出量原単位



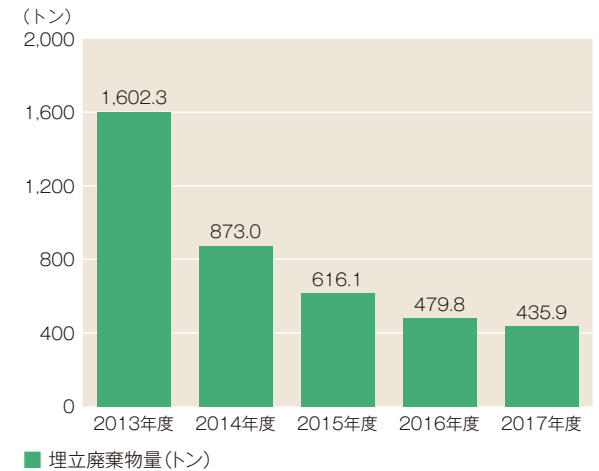
産業廃棄物排出量原単位：

年間で排出した産業廃棄物の重量(kg)を年間製造量(トン)で除した数値。

再資源化率



埋立廃棄物量



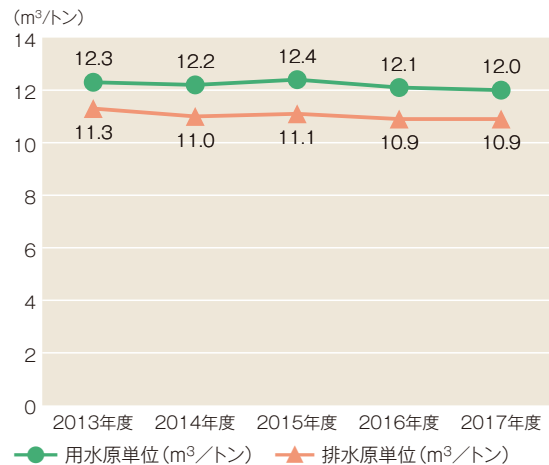
埋立廃棄物量：

廃棄物のうち、埋立処理される廃棄物の重量。

環境パフォーマンスデータ

● 水資源の保全

用水原単位／排水原単位



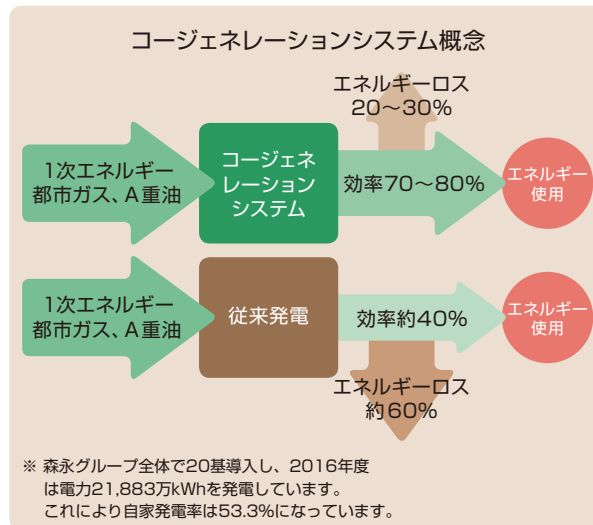
用水原単位：
工場で使用される水道水、井戸水等の用水量 (m³) を年間製造量 (トン) で除した数値。

排水原単位：
工場の排水処理場や下水に流入、または排水処理場より排出された水量 (m³) を年間製造量 (トン) で除した数値。

● 省エネルギー対策

森永乳業ではコージェネレーションシステムやアイスバンクを工場に設置し、省エネルギー対策を進めています。また、東京多摩工場では太陽光発電パネルを設置しており、工場内で発電した電気を使用しています。

コージェネレーションシステム



東京多摩工場太陽光発電 発電量実績 (単位: kWh)

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
32,043	31,131	32,619	29,507	29,828

アイスバンク

